

今年のテーマ…

これまでありがとう。

そして新たな一歩～水源に森を



99年の第1回開催以来、北海道利尻島から、鹿児島まで131カ所もの場所で、キャンペーンをさせていただきました。これもひとえに、暖かくキャラバン隊を迎え入れてくださった皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。基金の活動を開始してからこれまで、キャンペーンでご協力いただいた方々やボランティアの皆さんに支えられながら、試行錯誤の連続ながらも緑化や学校建設、溜池造成で成果を出してきました。ようやく「第一段階が終了した」と実感できるようになりました。

そこで私たちは今年の全国キャンペーンをひとつの区切りと考えました。テーマは「これまでありがとう。そして新たな一歩～水源に森を」。これまで私たちを支えてくださった皆さんに御礼を申し上げるとともに、水源涵養林の造成と新たな水源開発など、いよいよ本格的にラリベラの水問題に取り組むこれからの活動についてお話させていただこうと思います。

理事長 新妻香織

キャンペーンの日程

| 日付 | 開催地 | 会場 | 日付 | 開催地 | 会場 |
|--------------|---------|-------------------------------|--------------|---------|-----------------------|
| 7月22日 (土) | 青森県八戸市 | 天聖寺 | 7月30日 (日) | 愛知県名古屋市 | 日進スポーツセンター 1階会議室 |
| 7月23日 (日) | 宮城県仙台市 | SS30 足長ビル (住友生命仙台中央ビル) B1F | 7月31日 (月) | (移動日) | |
| 7月24日 (月) | 福島県猪苗代市 | 猪苗代レイクヒル 12階 | 8月1日 (火) | 鳥取県鳥取市 | 鳥取市賀露地区公民館 |
| 7月25日 (火) | 埼玉県川越市 | 生活クラブルーム 「フォレスト」 | 8月2日 (水) | 広島県熊野町 | 米蔵ざらりー三田屋 |
| 7月26日 (水) | 東京都町田市 | 定岡氏宅 3階サロン | 8月3日 (木) | 広島県東広島市 | 東広島市立西条中央公民館 小ホール |
| 7月27日 (木) | 千葉県君津市 | 君津市中央公民館 講堂 | 8月4日 (金) | 広島県広島市 | 広島市吉島福祉センター 多目的ホール |
| 7月28日 (金) | 千葉県船橋市 | 船橋市民文化創造館 きららホール | 8月5日 (土) | 岡山県岡山市 | 禁酒会館 |
| 7月29日 (土) | 愛知県新城市 | 新城市民体育館 第一会議室 | 8月6日 (日) | 大阪府枚方市 | 楠葉公民館 |

キャンペーンの内容

- 1、基金代表より活動についてのスライドとお話し
- 2、古屋和子のひとり語り ～宮沢賢治「虔十公園林」
- 3、稲垣達也 ピアノコンサート
- 4、小関佳宏 クラシックギターコンサート
- 5、毛利大介コンサート
- 6、フー太郎の森基金活動のパネル展示
- 7、キャンペーングッズやアフリカグッズの販売



各会場から

寄せられた声

キャンペーンを終え、各会場の主催者から届けられた感想を一部抜粋して紹介します。

■八戸会場

第8回全国キャンペーンは、八戸からスタート。報告は、いっそう理解と関心を高めるパワーとユーマアに満ちていた。

今後はさらに奥地の水源地にも植林するという難題にも挑むとこと。改めて志の強さと純粋さに心打たれる。参加できなかった方々からも沢山の支援が届けられ、只々感謝の至り。

(八戸市 伊藤園子さん)

■仙台会場

開催して本当に良かった。自分は「ひとりじゃない」ということをこんなに感じる事ができたのも、手伝ってくれた皆さんや多くの友人、もちろんフー太郎の方々と出会ってくれた素敵な芸術家たち。そしてなによりも、みんなを巻き込んだ自分…すべてが宝物になりました。

(仙台市 原好幸さん)

■船橋会場

今年もまた会場をうめることが出来ました。

今回もまた三〇%以上の方が初めてフー太郎のキャンペーンに参加して下さった方達です。そして五〇%以上の方が毎回顔を見せてくださいました。毎年少しずつフー太郎の活動が人々に広がっていくことを願っています。

(船橋市 宮沢たへ子さん)

■君津会場

年々深刻になってきている環境問題や異常気象を見ても、もう、私たちはこの地球に何かの行動を起こさなければならぬ危機的状況にきているように感じます。もしかしたら、フー太郎の未知なるパワーとパワー、こういう気づきを持ったたくさんの方の思いが見えない力となつて後押ししているのかもかもしれません。

(君津市 松本修子さん)

■福島会場

今回の猪苗代は、主催地域の熱い要請にこたえるために何が必要かを考えるための、まったくの試みの集いでした。イベント

の後に小一時間も質問が続き、キャラバン隊の皆さんには大変お疲れになったかもしれませんが、最後まで熱心に対応してくださり深く感謝申し上げます。おそらくそのときの戸惑いは、永遠の糧になるでしょう。

(会津若松市一牛雄司さん)

■町田会場

新妻さんの活動を通して『ふくろう』『木』『森』『水』と、世界的スケールで考えるきっかけとなりました。また、その生き方から、私も人間として何を大事に生きなければならぬかを、常に心に問いかけてながら生きていきたいと思いました。感動を本当にありがとうございました。

(町田市 定岡憲子さん)

■新城会場

フー太郎の森基金がエチオピアで、森林再生に継続的に取り組んでおられることに、心から敬意を表します。とりわけ短絡的に樹木を植えることに走らず、現地の子供達に森の大切さや木を植えることの意義を教えながら進めてこられたことを聞きエチオピア支援に対する本気の姿

勢を理解することが出来ました。

(新城市国際交流協会)

松本博也さん

■川越会場

私が川越に越してきた理由の一つに「武蔵野の雑木林」の美しさがありました。クヌギやコナラは夏は青々とした葉を繁らせ、冬には落とした枯れ葉が農業の堆肥となる循環型農業には欠かせない雑木林の主役です。プラスチック削減にも寄与し、プラスチックの宝庫でもあります。でも農業人口の高齢化に伴って手入れのされていない雑木林も増えていきます。だから、私にとって雑木林の手入れに参加する事は「武蔵野の雑木林」を孫世代に残すための重要なテーマ。これが「フー太郎の森基金」のおもいと同じ代表の新妻さんの最初のキャンペーン、第2回、そして第8回と活動報告を聞く度に「おもいを話し続けること」の大事さを感じ、勇気づけられます。

(川越市 横山美枝子さん)

■熊野会場

私の在住している熊野町会場では、立派な古民家のお蔵での

キャンペーンとなり、皆様の生の声が反響しすばらしかったです。小学生の男の子が食い入るように聞き入っているのが印象的でした。

広島県内三ヶ所のキャンペーンが終了した後は、不思議と去年とは違ったすこく安らかな心がありました。もっと多くの方に来ていただく想いと、行動が足りなかったのが反省点です。また皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

(熊野町 上田忠史さん)

■鳥取会場

初めての参加で色々行き届かない事があったかと思いますが、皆さん快く演奏いただきとても心地よい楽しい時間を持つことができました。環境NPOといっても取組みも様々でなかなか一緒に活動する事が難しいのが現状ですが、私たちの身体はひとつです。もっと皆さんのNPOと手をつなぐことが必要だと感じています。今回の経験を大切に、日頃の活動に生かして行きたいと思えます。

(地球の仲間ネットワーク事務局)

田中政憲さん

■東広島会場

少し準備期間が短かったので、多くの人に来てもらえなかったのは大変残念でした。しかし、来た人が感動されて、他の人にその感動をむすかゆく語られていたのを見て、少人数だけでもよかった。やっぱり良かったと、自覚しました。何がどう良かったかと、なかなか説明しにくいけれど、心にはしっかりとこのこっています。

今度ももっと多くの方に来ていただいで、この活動の意味と感動を認識し、味わっていただけたらと思っています。

(東広島市 鳴輪孝教さん)

■広島会場

いろいろな方からお話を伺ううちに、植林することによりエチオピアを飢餓から救おうとする日本人の心温まる話にとっても感激しました。

吉島公民館では以前から環境問題に取り組んでいて、割り箸をやめてマイはしを使うよう地域活動で取り組んでいましたから、今回のことは子供達にとってもよいお話だと思いました。

幼児や低学年も含まれていた

ため内容を十分に理解できていない子もいたように思いますが、心のもった表現であったため、それなりに楽しめたように思えます。小学校高学年や中学生にもっと多くの参加を呼びかければよかったです。

(広島市吉島公民館長)

松本雅充さん

■岡山会場

新妻さんのお話は面白くて思わず人をサラっていく(！)力があるなあと納得。宮沢賢治の語りもド迫力！ギターの小関さんが、キャンペーンの終わりを明日にしているような思いが込み上げて言葉に詰まったのを見て、若いっていいなあと思えました。また最後のポーカルの毛利君の明るさがとてもいい！初めてのフー太郎との出会いでしたが、会場に集まった人達も終了後どんどん会員に申し込んでいてびっくりしました。たった一人の人の個人的な体験から発した思いがいつの間にか人と人をつないでこんなに広がっていくなんて、人の「思い」ってすごいですね。

(岡山市 原明子さん)

■枚方会場

夏の催し、フー太郎の森基金全国キャンペーンにご縁があったから五回目となりました。最初の感動が、グループでの誘致という活動でこの様に長く続くことは、本当に喜ばしいことです。暑い夏も怠けず、打合せや呼びかけと走りまわり、暑さも吹き飛ばす勢いで当日を迎えました。稲垣さんのピアノ、塩見さんのバイオリンとの合同コンサートの若者二名が加わり、大変な賑わい。毛利君の歌唱力もなかなかのもの。参加された子供が翌日から真似をするほどファンが増えました。未来に希望がいっぱいですね。

当日は今年の夏一番という暑さだったにもかかわらず、たくさんの方が参加くださって、歌を歌えば手拍子で会場が一つの輪になり、大盛況のうちに大阪での最終日となりました。

(大阪市 大下和子さん)

